

平成 22 年度国土政策関係研究支援事業 研究成果報告書

タイムバンキング制度による新たな
“結い社会” の仕組みづくりの実証的研究

NPO法人グラウンドワーク福岡 事務局次長

齋藤 かおり

株式会社 よかネット

原 啓介

目 次

I. 研究目的・意義	3
II. 研究手法	5
○事例研究	5
○実証研究	5
III. 成果内容	6
○要旨	6
○キーワード	6
○本編	7
1. 八女市上陽町の現況	7
1-1. 地勢	7
1-2. 人口動態	8
1-3. 産業の現状	8
1-4. 生活サービスの現状	9
(1)公共・公益施設	9
(2)公共交通の現状	10
(3)福祉・介護の現状	10
1-5. 上陽町におけるこれまでの意識調査結果	11
1-6. 地域の課題	12
2. 事例研究	13
2-1. タイムバンキングとは	13
(1)タイムバンキングのおこり	13
(2)日本におけるタイムバンキングと時間預託	13
(3)介護保険制度の開始とその影響	14
2-2. ヒアリング調査結果	14
(1)クリエーション・ディベロップメント・トラスト	14
(2)ビジティングナースサービス・オブ・ニューヨーク (VNSNY)・コミュニティ コネクションズ タイムバンク	16
(3)NPO 法人 NALC 福岡 どん TAC	19
(4)NPO 法人 たすけあい遠州	21
(5)NPO 法人東京山の手まごころサービス	23
(6)タイムバンク USA	24
(7)サラピス財団	24
(8)財団法人 さわやか福祉財団	25

2-3. 事例研究まとめ	25
(1)拠点施設	25
(2)クレジットの授受	25
(3)クレジットの形態/残高の管理方法	26
(4)運営資金	26
2-4. タイムバンキングの導入にあたって	27
3. 実証研究	29
3-1. タイムバンク「環」	29
3-2. クレジット付与	30
(1)上陽地区内での活動	30
(2)地区外での活動	31
(3)その他	32
3-3. クレジット使用	33
3-4. 考察	33
(1)参加者の反応	33
(2)中山間地の暮らしの助けとなるには	33
(3)持続的なタイムバンク運営のためには	34
4. 今後の展開	35
4-1. タイムバンキング制度の有効性	35
4-2. 今後の展望	36
○資料編	39

I. 研究目的・意義

我が国には古来から結い・もやい・手間返しなど、地域を支えるため地域住民による相互扶助制度が確立されていた。しかしながら、農山村の中山間地域では、農林業者の担い手不足、高齢化等の進行、交通機関の不便性などから、人口の減少、高齢者世帯の増加などが一層進展し、その地域の住民だけでは旧来からの集落の祭りや行事が維持できなくなってきた。

これらの地域においては、耕作放棄地や空き家の増加、山林や棚田の石垣の手入れ不足による豪雨時の崩壊の危険性や農山村景観の消失など、様々な問題が発生してきている。

平成 21 年度国土交通省「過疎集落における安心・安定の暮らし維持構想策定事業」において、本研究の対象地区内八女市上陽町上横山地区における安心・安定の暮らし維持に関する住民意識調査および住民とのワークショップが行われた。その結果、同地区では人口の流出や高齢化等に伴う空家、耕作放棄地が随所にみられ、特に北部に位置する上横山地区の納又、三川等の横山河流域の集落は、高齢化の進行が著しく人口、世帯数はともに減少を続けている。上横山地区の平成 20 年（住民基本台帳）の人口は 319 人、世帯数 109 世帯、人口は平成元年時点の半数以下、世帯数は約 4 割減となっている。高齢化率は上横山地区全体で 5 割を超えており、八重谷地区（75.0%）、古賀地区（70.4%）は 7 割以上となっている。平成 17 年国勢調査における福岡県の高齢化率（19.4%）と比較しても高い値であり、その対策は喫緊の課題であることが改めて浮き彫りとなった。

そのような中、「タイムバンキング」が英国・ウェールズで導入され住民の地域活動への参加促進、世代間交流等、コミュニティの再生に大きな成果をあげているという。ウェールズでは 80 年代から始まった炭鉱の閉山により地域の主要産業を失い、失業者増加、反社会行為の増加、コミュニティの崩壊、人口流出等に悩まされてきた。しかし、タイムバンキングを導入した地区では、地域に人のつながりが生まれ、活力が増し、犯罪率が低下、人口の流出も止まっているという。

「タイムバンキング」とは、1980 年代アメリカで体系化された相互扶助の新たな仕組みで、1 時間の奉仕活動に対し 1 タイムクレジットが与えられ、受け取った者はこのクレジットを使用してイベント参加やインターネットカフェ、ジム、講座の受講等地域内で他のサービスを受けたり、他のメンバーから手助けを受けることができるというものである。

我が国においても、タイムバンキングに類似した、助け合いの時間を預託し、将来自分に手助けが必要になった時に引き出し使用する「時間預託制度」を導入し活動している団体の事例が見られる。この制度は介護ニーズが高まった 90 年代に隆盛が見られたが、2000 年の公的介護保険制度開始以降その必要性が薄れ、現在の広がり限定

的なものとなっている。

タイムクレジットは、獲得から使用までの期間が比較的短い、世代に関係なく使用できる、サービスに“楽しさ”を希求するなど従来の「時間預託制度」と異なる特徴がある。この点に、「田舎暮らし」や「二地域居住」が注目を集める時代のニーズに合わせ、都市と農村の交流の中で本制度を活用することによりさらに有効なものとなるのではないかと考えた。

本研究ではタイムバンキング制度を通じ、過疎地域において新たな相互扶助制度を構築することが可能かどうか、またそれを実現するにはどのような環境整備が必要かを事例研究・実証研究を通じて検討したい。

II. 研究手法

本研究では、事例研究においてタイムバンキングや時間預託の先進事例のヒアリング調査を、実証研究において八女市上陽町におけるタイムバンキングの試行的運用を行い、双方を通じ、過疎地域において新たな相互扶助制度を構築することが可能かどうか、またそれを実現するにはどのような環境整備が必要かを検討する。

○事例研究

以下の団体の活動の仕組みや成果などを把握するとともに、問題や課題を探り、後に続く実証研究プログラム作成の基礎データとする。

図表 1 事例研究先一覧

団体名	団体所在地
タイムバンキング/時間預託実施団体	
(1) クリエイション・ディベロップメント・トラスト	ブリジェンド市ブラインガルー地区 (イギリス・ウェールズ)
(2) ビジティングナースサービス・オブ・ニューヨーク コミュニティコネクションズ タイムバンク	ニューヨーク市 (アメリカ)
(3) NPO 法人 NALC 福岡 どん TAC	福岡県福岡市
(4) NPO 法人 たすけあい遠州	静岡県袋井市
(5) NPO 法人東京山の手まごころサービス	東京都新宿区
タイムバンキング/時間預託支援団体	
(6) タイムバンク USA	ワシントン
(7) サラピス財団	ニューヨーク市
(8) (財) さわやか福祉財団	東京都港区

○実証研究

福岡県八女市上陽町を対象とし、タイムバンキングの試行的運用を行う。

試行の際のタイムバンクは、英国・ウェールズにおいて炭鉱閉山により衰退したコミュニティの再生に大きな成果を上げている、クリエイション・ディベロップメント・トラスト (以下 CDT) が運営するガルー・タイムセンターの仕組みをベースとした。ただし、拠点施設への人員の配置が困難であることから、今回は常設の拠点は設けず、NPO 法人グラウンドワーク福岡内にタイムバンク事務局を置き、活動メニューの作成、クレジットの管理等を行った。

Ⅲ. 成果内容

○要旨

八女市上陽町は福岡市から車で1時間程度の場所にある中山間地域・過疎地域である。その上陽町において、人口減少や少子高齢化、八女市との合併により身近な公共が縮小しており、コミュニティの維持が課題となっている。そこで、タイムバンキングという制度を通じ、過疎地域において新たな相互扶助制度を構築することが可能かどうか、またそれを実現するにはどのような環境整備が必要かを事例研究・実証研究を通じて検討することが本研究の目的である。

まず、事例調査からは、タイムバンキングの仕組みを大きく拠点施設、クレジットの授受、クレジットの形態/残高の管理方法、運営資金の4項目に分解し、それぞれの項目におけるパターンを整理した。

実証研究では、実際のタイムクレジットのやり取りを通じ、運用にあたっての住民の反応や中山間地の生活において有効な手段となるための課題を考察した。

最後に、タイムバンキングの効果について、事例・実証研究から、地域コミュニティの活性化、地域住民の健康の維持、公的・個人的負担の軽減、利用者の生きがいの創出といった効果があると考えられる。

そのうえで、新しい公共の定義からタイムバンキングを見ると、「多様な方法によって社会的に、また、市場を通じて経済的に評価され」という部分が大きな課題である。

これには、データでその効果を証明することが大前提である。さらに事業主体の他事業からの利益をタイムバンキング事業に再投資するための努力も必要である。これらが、個人や民間団体からの寄附やボランティアベースの協力を得ることや、行政からの支援等の資金の確保、ひいては中山間地における相互扶助の確立につながる。

○キーワード

タイムバンキング、新しい公共、相互扶助、中山間地、過疎地域、人口減少、少子高齢化

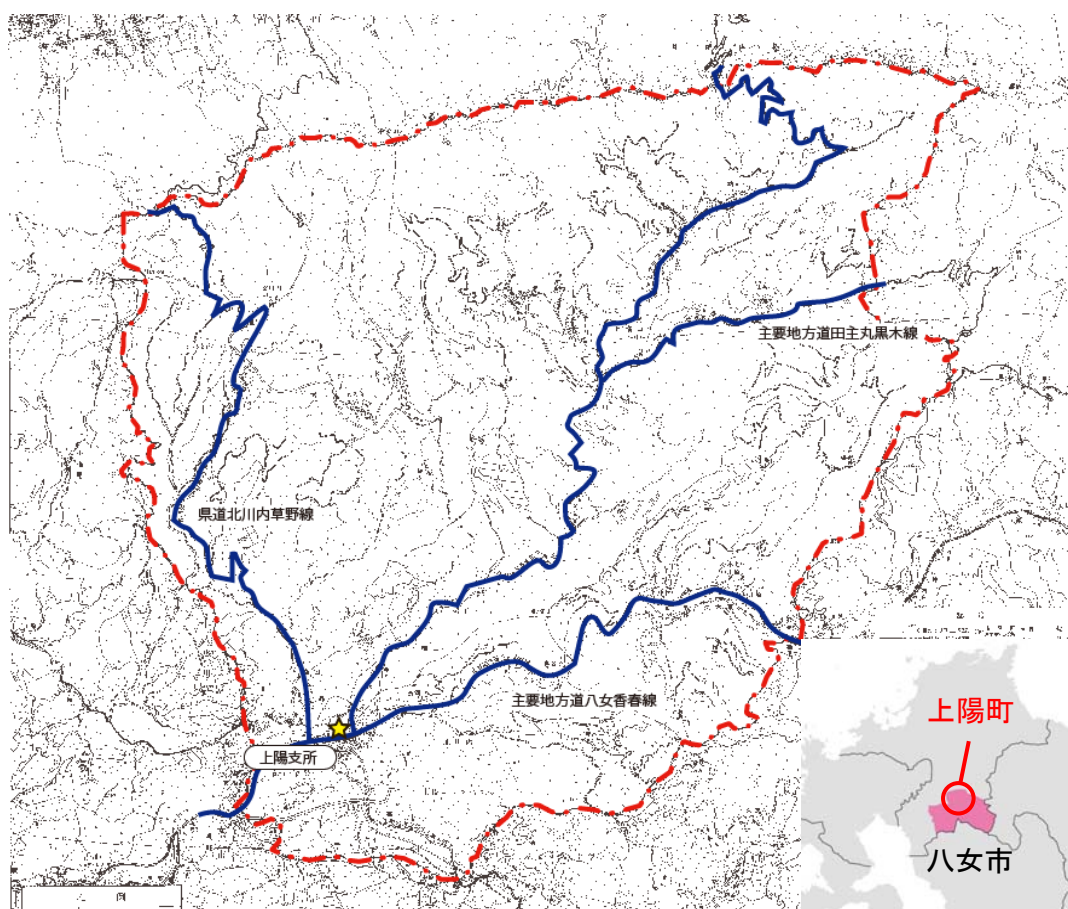
○本編

1. 八女市上陽町の現況

1-1. 地勢

福岡市から南南東へ約 60km、久留米市から南東へ約 25km の場所に位置する。総面積 59.32k m² の 98.7% が山間地である。1958 年に北川内町と横山村が合併し上陽町が誕生、その後上陽町は 2006 年 10 月 1 日に隣接する八女市に編入合併されたため、現在は八女市内となる。現在、上陽町中心部から八女市内の本庁までは車で 20 分ほどの距離にある。

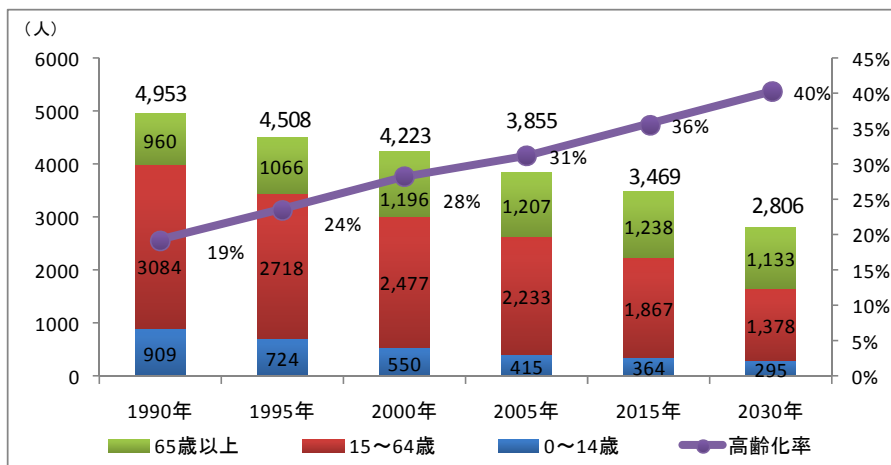
図表 2 八女市上陽町の位置



1-2. 人口動態

上陽町の人口は減少を続けており、少子高齢化が進展している。2005年時点の人口は3,855人、高齢化率は31%となっているが、25年後の2030年には人口が約2,800人、高齢化率は4割に達するという推計がなされている。

図表 3 八女市上陽町の人口および将来人口推計



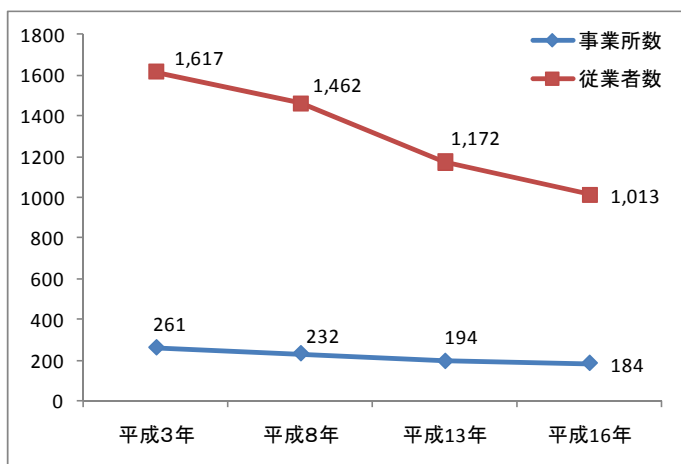
資料：2005年までは総務省「国勢調査」、

2015・2030年は国立社会保障・人口問題研究所による人口推計結果

1-3. 産業の現状

上陽町の事業所数、従業者数はいずれも減少の一途にある。平成18年に八女市と合併したため、平成16年までのデータを見ると、事業所数が184、従業者数が1,013人と、いずれも平成3年の2/3程度まで減少している。

図表 4 上陽町の事業所数、従業者数



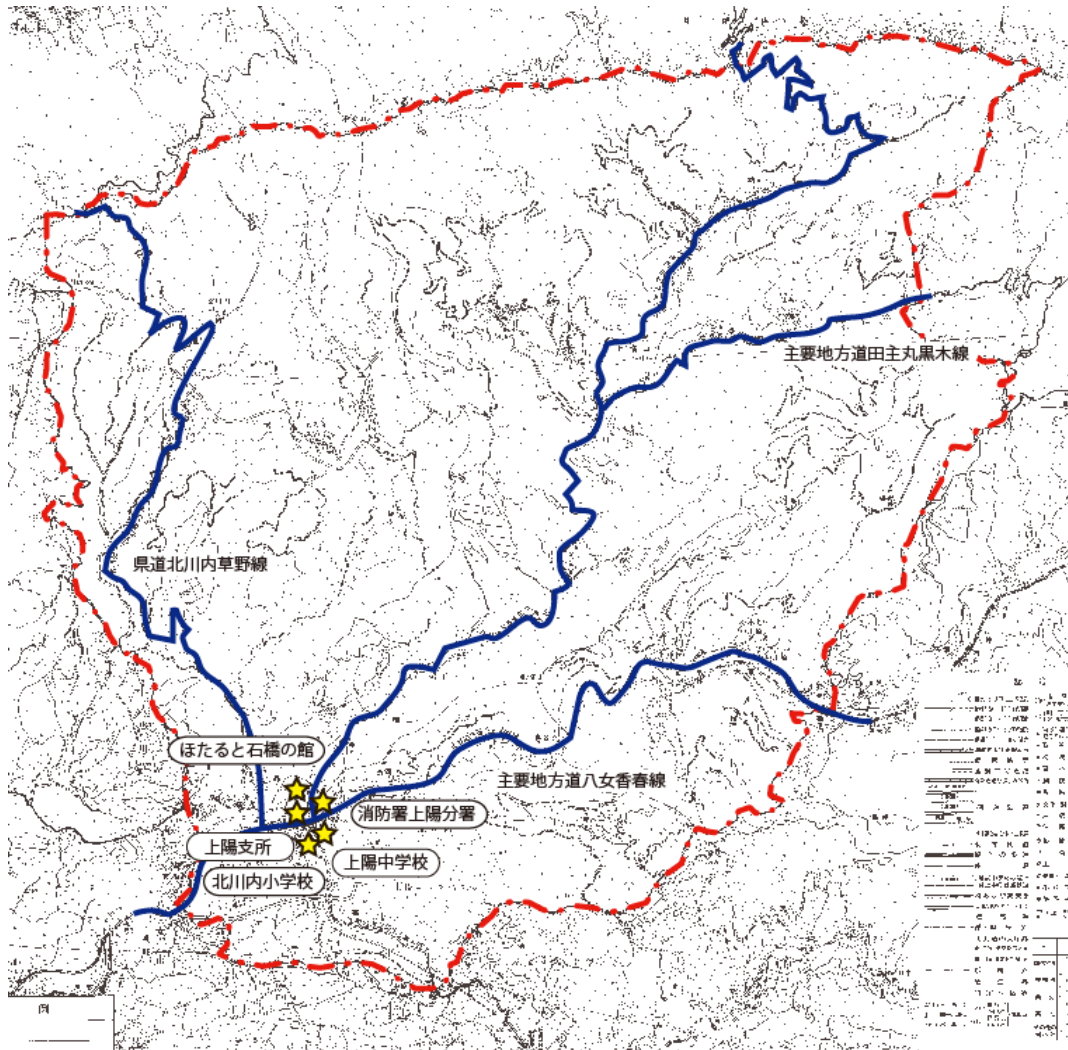
資料：総務省「事業所・企業統計調査」

1-4. 生活サービスの現状

(1) 公共・公益施設

上陽支所、消防署等、小学校、中学校といった拠点施設は上陽町中心部に集中している。金融機関は中心部に郵便局・銀行・農協が1箇所ずつ、上横山地区に郵便局が1箇所ある。

図表 5 公共・公益施設の位置図

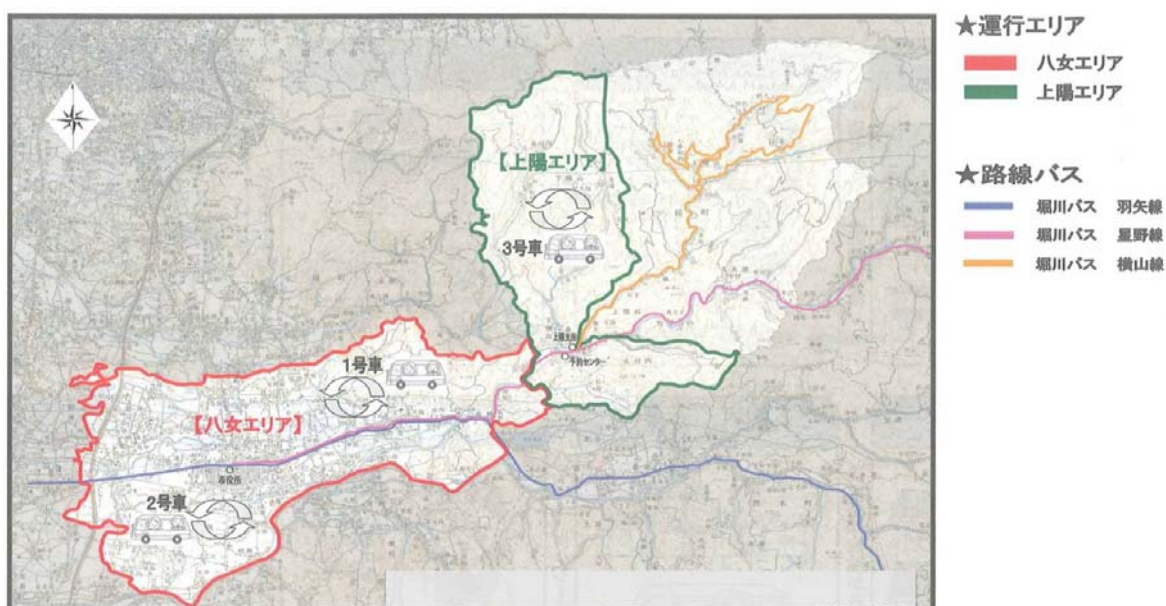


(2)公共交通の現状

主要地方道田主丸黒木線沿いに堀川バスが運行している。町の中心部を走る星野線は平日 12 本、日祝日 10 本、上横山地区まで通る横山線は平日 5～6 本、日祝日は 4 本と少ない。町の北西部に位置する下横山地区に公共交通機関は無い。

八女市街及び上陽町下横山・北川内エリアには平成 22 年度から予約型の乗り合いタクシーが運行している。

図表 6 八女市内の公共交通の現状（平成 22 年 1 月末時点）



八女市予約型乗り合いタクシー サービスの概要

- ・ 出掛ける際に電話で予約すると、自宅まで迎えに行き、目的地に送ってくれる。帰りも電話で予約すると、送迎してくれる。
- ・ 利用者は利用したい時間の 30 分前までに予約センターへ電話予約。
- ・ 料金は片道 300 円。
- ・ 総事業費は H22 年度から 3 年間で計 9 千万円を計上し、国土交通省の補助金を活用。予約受け付けや配車を上陽町商工会に委託し、運行は市内のタクシー業者が担当。

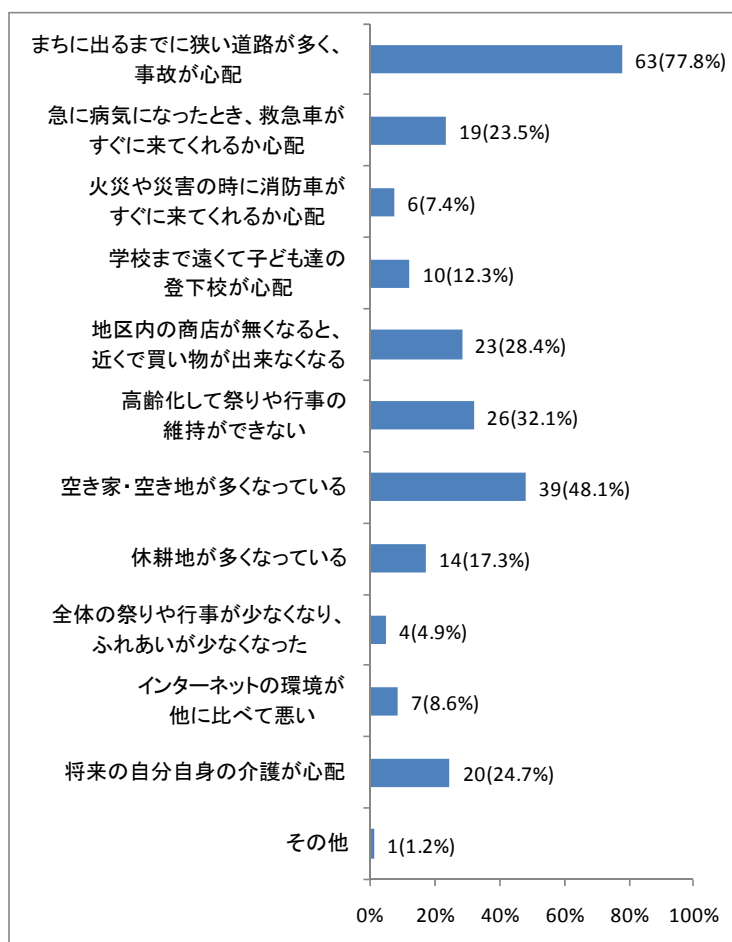
(3)福祉・介護の現状

上陽町内の居宅介護支援事業所は、北川内地区において、八女市社会福祉協議会の施設と民間施設の計 2 カ所が事業を展開している。また、上陽町内における介護保険指定事業者は 7 件である。

1-5. 上陽町におけるこれまでの意識調査結果

「過疎集落の安心・安定の暮らし維持構想策定事業」（平成 21 年度/国土交通省）において実施されたアンケート調査（上陽町上横山地区住民を対象、94 票回収）によると、この地域で暮らしていく上で不安、心配なこととして「狭い道路が多く、事故が心配」が 77.8%と最も多く、次いで「空き地・空き家が多い」（48.1%）、「高齢化して祭りや行事の維持ができない」（32.1%）等、少子高齢化による人口減少、地域の衰退を不安に思っている人が多かった。

図表 7 上陽町上横山地区で暮らしていく上で不安、心配なこと



資料：過疎集落の安心・安定の暮らし維持構想策定事業におけるアンケート調査(2009年)より

その他、上記事業におけるワークショップでも、地域の課題として「人口が減り地域の行事がつけられなくなる」「同じ地区の住人でも、車で移動するためほとんど会わない」「子どもが少なくなったため大会等が減り、地域内の人々が顔を合わせる機会が減っている」等の意見が出ており、町民間のコミュニケーションの場が減少していることが伺える。

1-6. 地域の課題

人口減少、少子高齢化により、地域コミュニティが弱体化し、地域内の「共助」の機能が縮小していることに加え、合併により旧上陽町の行政機能も縮小しており、町内における「身近な公共」が縮小している。そのような状況下、地域住民間の相互扶助の気持ちを喚起し、つながりを取り戻すための取り組みが求められている。また、地域住民間だけでなく、都市住民も含めた「新たな相互扶助の仕組み」を構築する必要がある。

2. 事例研究

本章では、事例研究の前段として実施した文献調査からタイムバンキングの概要を簡単に整理した後、個別の事例研究結果を列記する。事例研究は、下表のとおりその主な活動内容から2つのグループに分け、調査結果を整理した。その後、①運営方式②サービス内容③クレジットの形態・残高管理の方法④運営資金の4つの観点から各事例を整理する。

図表 8 事例研究先一覧

団体名	団体所在地
タイムバンキング/時間預託実施団体	
(1) クリエイション・ディベロップメント・トラスト	ブリジエンド市ブラインガルー地区 (イギリス・ウェールズ)
(2) ビジティンガナースサービス・オブ・ニューヨーク コミュニティコネクションズ タイムバンク	ニューヨーク市 (アメリカ)
(3) NPO 法人 NALC 福岡 どん TAC	福岡県福岡市
(4) NPO 法人 たすけあい遠州	静岡県袋井市
(5) NPO 法人東京山の手まごころサービス	東京都新宿区
タイムバンキング/時間預託支援団体	
(6) タイムバンク USA	ワシントン
(7) サラピス財団	ニューヨーク市
(8) (財) さわやか福祉財団	東京都港区

2-1. タイムバンキングとは

(1) タイムバンキングのおこり

タイムバンキング制度とは、「タイムダラー」として1980年代にアメリカでエドガー・カーン博士により理論的に組み立てられた相互扶助の新たな仕組みで、1時間の奉仕活動に対し1タイムクレジットが与えられ、受け取った者はこのクレジットを使用して時間単位で別のサービスを享受することができる。現在米国・英国をはじめとし、規模の大小はあれど世界22ヵ国でこの仕組みが活用されている。

(2) 日本におけるタイムバンキングと時間預託

わが国にタイムバンキング制度が紹介されたのは、1988年にアルビン・トフラーの論文によってであった。その後90年代に愛媛県において実験的研究などが実施された。(呼称は、「タイムバンキング」「時間通貨」「タイムダラー」等運営主体により異なるが、時間を単位にサービスをやり取りするという点で、どれもタイムバンキングと見

なす。)

また、これに先立ち水島照子氏により 1973 年に設立された「ボランティア労力銀行」(1 時間のボランティアを 1 点として貯蓄し、必要な時に使用する仕組み) や 1981 年に発足した「暮らしのお手伝い協会」による有償ボランティア活動(奉仕報酬時間の 40%を時間に置き換えて貯蓄しておき、必要な時引き出す)で運用された仕組みは「時間預託」と呼ばれる。その後財団法人さわやか福祉財団が「ふれあい切符」という独自の呼称で推進し、この取り組みは高齢化社会の進展を背景にした介護ニーズの高まりに呼応した有償ボランティアの広がりともあいまって、2000 年の公的介護保険制度開始までに大きな広がりを見せた。

「タイムバンキング」と「時間預託」の大きな相違点は、「タイムバンキング」が比較的短い期間でクレジットの取得・使用を前提としたものであるのに対し、「時間預託」は自分が必要となったときに引き出し使用するスパンの長い利用を想定したものである点にある。

(3) 介護保険制度の開始とその影響

2000 年の公的介護保険制度開始を境に、時間預託による有償ボランティア活動は、介護事業所に移行し活動を継続する団体と、介護保険の枠外サービスである日常生活の手伝い等に活動を絞る団体に大きく分かれた。その中で、前者は時間預託の必要性が薄れ、後者は活動規模自体が縮小し、解散する団体などが見られ、90 年代後半には 400 団体に上った時間預託を行う団体数も 2010 年時点では 44 団体まで減少した。

「時間預託」と比較し、国内での広がりが限定的であった「タイムバンキング」であるが、現在 39 団体で取り組みが行われているのが確認されている。これらと外国での先進事例の中から、タイムバンキング実施団体 5 団体、運営支援団体 3 団体に対し、ヒアリング調査を実施した。

2-2. ヒアリング調査結果

タイムバンキング/時間預託実施団体

(1) クリエイション・ディベロップメント・トラスト

日時	平成 22 年 7 月 7 日 (水) 13 : 00 ~ 15 : 00
場所	クリエイション・カフェ/ガルー・タイムセンター (ブリジェンド市ブラインガルー地区)
協力者	ドーン・デイビーズ氏 (クリエイション・ディベロップメント・トラスト チーフエグゼクティブ)、デービッド・ピュー氏 (ガルー・タイムセンター タイムブローカー)

①組織概要

- ・ 設立：2000 年
- ・ タイムバンキング開始：2004 年
- ・ 会員数：665 名 最年少 4 歳 最年長 96 歳
- ・ 概要：炭鉱閉山後に失業者問題・反社会的行為の増加などを背景に、コミュニティの再構築、地域活性化を目指し取り組み開始。タイムセンターを拠点にイベント・教育機会などの多岐にわたるメニューを提供している。
- ・ クレジット付与事例：コミュニティ活動のサポート、クラブやグループを運営する、クラスを教える、ゴミ拾い、芸術作品を作る、子供やお年寄りのサポートをする、修理・メンテナンス作業をする、パンフレット配布、カーニバル準備参加、依頼に基づく個人への奉仕活動
- ・ クレジット使用事例：イベント参加（ショー・ビンゴ大会等）、会議室利用、コピー機利用、講座受講、カフェでの利用（代金の一部として使用可）、DVD 貸出、小旅行、依頼に基づき個人から奉仕を受けるなど

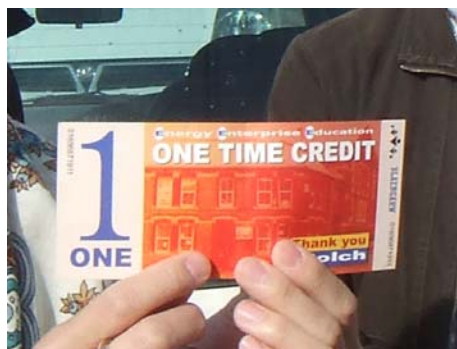
②設立の経緯

- ・ 1985 年に地区内の炭鉱閉山。当時は環境汚染がかなり進んでおり、住民の健康悪化、主要産業喪失による経済の悪化、若者による反社会的行為、インフラ未整備、主要建物の老朽化と閉鎖等の問題が山積していた。
- ・ クリエイション・ディベロップメント・トラストはそのような地域に 2000 年に設立され、経済・環境・文化・交流等の分野で地域再生に取り組んでいる。
- ・ ブラインガルー地区内人口は 1895 名。主要幹線道路から離れた溪谷地域に位置し、隣町から 15km、中心都市からは 45km 離れている。

③運用の仕組み

- ・ 登録希望者は、所定の様式（資料 1）に自分の経験・今後したいこと、参加したいイベントをチェックする。これにより、タイムセンターは個人の興味関心・スキル、コミュニティのニーズを把握する。
- ・ その後タイムブローカーと呼ばれるコーディネーター役と面談をし、2 クレジットを受け取り登録が完了する。
- ・ 活動リストから自分の取り組む奉仕活動を選び参加し、1 時間＝1 タイムクレジットとして活動時間分のタイムクレジットを受け取

図表 9 クリエイション・ディベロップメント・トラストの発行するタイムクレジット



<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムクレジットを使用して自分の好きなイベント等に参加する。
<p>④運営資金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝くじ助成金（3年間で499,979ポンド=約79,996,640円）・EU基金・イベント時の協賛金
<p>⑤その他特記事項</p> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立当初100名であったメンバーは665名までに増加し、37の地域活動グループが新たに生まれた。 ・年間ボランティア総時間（2009年）：24,000時間 ・反社会的行為の減少、地価の上昇が見られる。 ・人口流出に歯止めがかかった ・コミュニティ統治（自分の住む地域を自分で守ろうという考え）が浸透した。 ・ストリートアンバサダー制度（隣組長制度に類似したもの）の開始

(2) ビジティンクナースサービス・オブ・ニューヨーク (VNSNY) ・コミュニティコネクションズ タイムバンク

日時	平成22年9月3日（金）11時30分～13時
場所	ビジティンクナースサービス・オブ・ニューヨーク 事務所内会議室（ニューヨーク市）
協力者	マシ・プレス(Director)、オマイラ・トーレス（シニアコーディネーター）、ティナ・チャン（コーディネーター）、ブライアン・ランデバー（コミュニティディベロッパー）、ゾイラ・ロハス（VISTA associate）
<p>①組織概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立：2007年 ・タイムバンキング開始：2007年 ・会員数：1572名 参加者 ・スタッフ数：14名（有給10名：フルタイム7・パートタイム4・/無給4名：アメリカープ3・インターン1） ・概要：VNSNY社の社会貢献事業部門として運営。専属スタッフ14名。ニューヨークの広いエリアで主に個人間の助け合いを行う。 ・クレジット付与事例：病院への送迎、家庭教師、母親支援、ペットの世話、付き添い、 	

縫い物、翻訳

- ・クレジット使用事例：同上

②設立の経緯

- ・訪問看護事業を行う企業「ビジティングナースサービス・オブ・ニューヨーク (VNSNY)」のチャリタブルケア事業として 2007 年に発足。

③運用の仕組み

- ・エリア内で定期的に説明会を開催。入会希望者にはまず、登録会に参加してもらい、タイムバンキングの仕組みについて理解してもらおう。
- ・登録希望者には所定の申込書に記入してもらい、事務局で審査を行う。審査を通過した者に対してメンバーズカード（写真付き）を発行し、サービスのやりとりの際には必ず ID の確認をしてもらっている。
- ・2010 年 9 月 1 日現在で審査待ち人数は 67 名。
- ・会員は月に 1 度クレジットのやり取りを所定の様式（資料 2）で事務局へ報告。事務局はそれをデータベースに入力し、クレジット残高を管理する。
- ・会員はビジネスパートナー（250 社：2010 年 9 月 1 日現在）からディスカウントやサービスを受けることができる。

④運営資金

- ・Visiting Nurse Service of New York(以下 VNSNY)は、訪問看護事業を行う非営利医療団体でその事業規模は年間 10 億ドル程度である。アメリカには州ごとに税控除を受けられるための要件があり、ニューヨーク州の場合はその一つに、認証ホームヘルスケア事業所は、運営に係る支出のうち 2%を無保険の人に対する医療サービス等のチャリタブルケアに使用せねばならないという項目があり、VNSNY はチャリタブルケアにあてる費用でコミュニティコネクションズ タイムバンクを創設し運営している。したがって、運営に必要な資金は全て VNSNY 社から賄われているため、安定した運営を行うことが可能となっている。

⑤その他特記事項

成果

- ・クレジット流通量：54,045 時間（2010 年 8 月）

メンバー情報詳細

（出典：VNSNY Community TimeBank Monthly Stats Report September 1st, 2010）

- 年収：25,000 ドル（約 2,075,000 円）以下 66%
25,000 ドル～50,000 ドル（約 4,150,000 円）19%
50,000 ドル以上 16%
- 年代：17 歳未満 5%
17～30 歳 15%
31～40 歳 14%
41～50 歳 16%
51～60 歳 16%
61～70 歳 15%
71～80 歳 13%
81～ 6%
- 言語：16 言語（第一言語：スペイン語 43% 英語 36% 中国語 19%）
46%が英語をほとんどもしくは全く話さない。
- 民族：アジア系 21%
アフリカン・アメリカン 5%
コーカソイド 20%
ヒスパニック 54%
- 出生地：アメリカ以外 68%
- 住居形態：独居 27%
- 移動手段について：14%が移動手段に問題あり
- 参加の動機：コミュニティに貢献したい、友達を作りたい、サービスを受けたい、お金を節約したい

マッチング情報

（出典：VNSNY Community TimeBank Monthly Stats Report September 1st, 2010）

- 人気のあるやりとり：語学レッスン、料理、買い物、コンピューター訓練、電話をかける、家事軽作業、送迎、付き添い、用足し、洋服お直し、ダンスレッスン、ボランティア
- 67%が 10 歳以上の年齢差のある者の間で行われた
- 86%が収入クラスの違う者の間で行われた。
- 67%が異なる民族背景を持つもの間で行われた。

エピソード

- クレジットのやり取りが発生しているということは、なんらかの助け合いが発生していることを意味する。クレジットをいくら持っているかよりも、助け合いが生まれることが重要であるとの考えから、クレジット残高がマイナスになっても構わない。

課題

- ・登録者の 10%しかサービス提供・利用を報告していない。実際は報告されるクレジット数よりも多くの様々な活動のやりとりがなされており、これは嬉しい悩みとも言える。
- ・活動場所の確保
- ・さまざまな民族が住むコミュニティで活動しているため、多言語に対応する必要がある。パンフレット等は英語・スペイン語・中国語の3種類を用意している。多民族が関わるゆえ、文化的な相違やその調整も困難である。

(3)NPO 法人 NALC 福岡 どん TAC

日時	平成 22 年 7 月 29 日 (木) 10 : 30 ~ 12 : 00
場所	どん TAC 事務所 (福岡市南区花畑 2-3-14-101)
協力者	松本隆幸氏 (どん TAC 設立者)
①組織概要 <ul style="list-style-type: none">・設立 : 1994 (H5) 年 8 月 7 日・タイムバンキング開始 : 1994 (H5) 年 8 月 7 日・会員数 : 149 名 (男性 55 名・女性 93 名) ※配偶者会員 45 名含む。最年少 : 39 歳 最年長 : 92 歳 平均 66.3 歳 (2010 年 3 月 31 日現在)・概要 : 高齢者がいきいきと暮らしていける社会の実現をめざし大阪に設立された NALC (日本アクティブライフクラブ) の下部組織。時間預託事業では会員相互の助け合い活動を行う。サービス利用の要請があったときは事務局がコーディネートを行う。・クレジット付与事例 : 産後の家事支援、遠距離介護、庭の手入れなど・クレジット使用事例 : 同上	
②設立の経緯 <ul style="list-style-type: none">・1988 年に、高齢者がいきいきと暮らしていける社会の実現をめざし、1988 年に WAC (長寿社会文化協会) が設立される。この下部組織として活動していた大阪 WAC が、1993 年に WAC アクティブクラブとして誕生。1994 年に NALC (※1) と名称を変更する。・NALC は高畑敬一氏が全米退職者協会 (AARP) に倣い、退職後の特に男性にこれまで培った知識・経験を地域に還元する場として設立した。この新聞記事を見た松本氏が趣旨に共感し、NALC に入会したものの、九州での会員はただ一人で活動ができない状態であった。・そこで、高齢者疑似体験講習会に参加した時の仲間である松山みどり氏 (当時那珂川	

町在住・看護師) に呼びかけ、どん TAC を立ち上げ、新聞・フリーペーパー等を通じ仲間を募集し、設立当初のメンバー約 30 名が集まった。

※1：特定非営利活動法人ニッポンアクティブライフクラブの略称。全国 145 拠点、会員約 3 万人

③運用の仕組み

- ・内容に関わらずボランティア活動 1 時間 = 1 点として時間預託台帳に記録。サービスを利用する時は貯めたポイントから使用する。
- ・保有ポイントが無い場合でも、1 時間 = 500 円を目安に応分の寄付をすることでサービスを利用することが出来る
- ・ボランティアからポイントの寄付も受け付けており、保有ポイントも無く、応分の寄付も出来ない会員へのサービス提供へ備えている。(実際使った事例はまだ無い)
- ・参加希望者はボランティア提供・利用登録票(資料 3) に記入。
- ・利用の要請があった時は、事務局で会員とのコーディネートを行う。
- ・ボランティアの交通費はサービス利用者が負担する。

サービスの事例

- ・産後の家事支援：非常に好評
- ・遠距離介護：NALC は全国の拠点で同じ内容で時間預託制度を運用している。例えば東京に住む娘さんが福岡に住む母親の様子見を依頼、長崎に住む親の墓参りの送り迎えの依頼などがあった。
今でも単発であるが、年 2 ~ 3 回の遠距離の会員さんからサービス利用がある。
- ・子供の一時預かりについては、病気の時などは対応できないため、メニューには入れていない。
- ・大阪の NALC では大和ロイヤルホテルと提携し、宿泊費に 3 点分充当できる。
- ・文楽鑑賞(大阪)も鑑賞費に全額ポイントで鑑賞できる。
- ・パナソニック保養所(丹波篠山)の利用料についてもポイントを充当できる。

④運営資金

- ・(毎年 3 月 31 日時点の拠点会員数) × 1500 円(年会費の 1/2) が本部より振り込まれる。
- ・点数を持たない会員がサービスを受けた場合は、1 時間 = 500 円を目安に活動運営費として寄付をいただいている。最近の NALC の考え方として、寄付金 500 円は明記せず、気持ちで寄付をいただくような方向となっている。初めてサービスを受けた人が、「どの程度の寄付金か」と聞かれた場合に、一応 1 時間 = 500 円を目安と答えるようにしてはどうかと考えている。

- ・設立当初は、資金を稼ぐため、活動の際の写真を1枚100円で会員に対し販売していた。

⑤その他特記事項

エピソード

「お年寄りのニーズ」

- ・ボランティアでお年寄り宅に伺うと、お茶や食事の申し出を受けることがあった。当初はボランティアであるからと固辞していたが、ある時お年寄りが求めているのは話し相手であること、それに応じることも同じボランティアであることに気づき、以降は過度にならない範囲で気持ちを受け取っている。大切なのは心。心のふれあいを大切にしたい。

「誰だってボランティアできる」

- ・利用者から、サービスを受けるばかりで申し訳ないと言われることもあるが、たとえ寝たきりの人でもモーニングコールや電話での話し相手など、できるボランティアはある。すべての会員がボランティア提供者であり、利用者でもあるという考えから、活動会費の金額はボランティアの内容・サービス利用の有無に関わらず一律である。

課題

- ・地区ブロックごとに、ボランティアが多いが利用者が少ない、その逆など会員のバランスに偏りがある。出来る限り利用の要請は断らないが、近隣にボランティアがおらず手配がつかない場合は断らざるを得ないことがある。
- ・近年、会員が減少傾向にある。利用要請に応えられなかったことも一つの要因か。会員拡大に取り組み、地域内（校区単位など）で需要・供給のバランスが取れるようになるのが理想。
- ・安定した運営資金を確保するためにも会員を増加させる必要がある。現在は区役所にチラシを設置している。もっとPRすれば会員は増えると思うが、団体の運営体制を考えると、急激な会員増には対応できない可能性もある。

(4)NPO 法人 たすけあい遠州

日時	平成23年1月26日（水）13時～15時
場所	もうひとつの居場所（静岡県袋井市）
協力者	稲葉ゆり子氏（NPO法人たすけあい遠州 代表理事）

①組織概要

- ・ 設立：2000年（前身団体ふれあい袋井は1995年活動開始）
- ・ タイムバンキング開始：2004年
- ・ 会員数：約200名（年会費1000円）
- ・ 概要：同法人が運営する「もうひとつの居場所」を拠点に、そこに集まる老若男女のふれあいの中で生まれる助け合い行為に対し、「周」と呼ばれる時間通貨をやり取りする。「周」は基本的に1行為に対し1枚。
- ・ クレジット付与事例：「もうひとつの居場所」への送迎・歌を歌う・家の掃除・買い物代行等
- ・ クレジット使用事例：「もうひとつの居場所」でのランチ（10周で1回）・「もうひとつの居場所」への送迎・家の掃除・買い物依頼等

②設立の経緯

- ・ 1995（H7）年より働く女性の支援を目的に活動開始。配食サービスを実施するうち、「もうひとつの居場所」が始まり、メンバーで時間預託によるたすけあいを行っていた。2000年の介護保険制度開始時に、介護事業はプロに任せ、介護保険制度の枠に入らない小さなサービスに取り組むことに決めた。その後2004（H16）年に時間通貨「周」を導入。

③運用の仕組み

- ・ 登録希望者は、NPO法人の会員となる。
- ・ 「周」は10枚200円で購入し利用を始める。
- ・ サービスを仲介するコーディネーター役はおらず、「もうひとつの居場所」でのふれあいから自然と「周」で頼みごとやお世話をすることが浸透している。
- ・ 1行為（＝1つの「ありがとう」）に対し1周

④運営資金

- ・ 会費収入・「もうひとつの家」ランチ営業による収入・古紙回収事業（月3回実施）に対する補助金

⑤その他特記事項

エピソード

- ・ ある晴天の日に、90歳のおばあちゃんがもうひとつの家に入ってくるなり、「今日は富士山がきれいだった」と話した。それを聞いたもう一人の老人が、「だからあなたの瞳はきれいなよね。」と返した。この言葉に感動した周りの人たちはこの老人に対し周を渡した。

「街の居場所 もうひとつの家」

- ・ NPO 法人たすけあい遠州が JR 袋井駅前に開設している「街の居場所 もうひとつの家」が拠点の役割を果たしている。ここは、「いつ来てもよい、いつ帰っても良い、もうひとつの家」というキャッチフレーズで、子供からバス待ち客、お年寄りまで誰もが立ち寄り、無料で思い思いの時間を過ごすことのできる憩いの場である。週 2 回お年寄りを対象に音楽療法を実施。参加者は音楽療法のみならず、トランプをしたりランチを取ったりして一日を過ごす。この送迎も周で行っている。
- ・ 毎日ランチを 300 円で提供しており、周 10 枚との引き換えも可能。
- ・ 1 時間＝1 クレジットという厳密なやり取りではなく、1 つの「ありがとう」に対し 1 周を渡すスタイルは、他の団体とは大きく異なる。「もうひとつの居場所」という拠点での何気ないふれあいから助け合いが自然と生まれているのを実感した。

(5) NPO 法人東京山の手まごころサービス

日時	平成 22 年 8 月 26 日（木） 14:30～16:00
場所	NPO 法人東京山の手まごころサービス事務所（東京都新宿区）
協力者	小西 伸彦氏（NPO 法人東京山の手まごころサービス 代表）
①組織概要 <ul style="list-style-type: none">・ 設立：2002 年（WAC（社団法人 長寿社会文化協会 まごころサービス東京センターを継承）・ タイムバンキング開始：該当なし。（当初時間チケット制で介護保険事業枠外のサービスを「助け合い事業」として実施。現在は時間あたりの現金制）・ 助け合い事業利用者数：約 300 名・ スタッフ数：79 名（介護福祉士 30 名、2 級資格者 45 名、管理栄養士 3 名、調理師 1 名）・ 概要：平成元年、介護保険事業開始前に住民参加型の在宅介護サービスの草分けとして設立された社団法人 長寿社会文化協会 まごころサービス東京センターを継承し、平成 14 年 NPO 法人設立。介護保険事業・自立支援事業・助け合い事業・行政委託事業・地域生活支援事業・研修事業を行う。介護保険事業枠外のサービスを「助け合い事業」として時間あたりの現金制（1500 円/時間）で行う。・ 助け合い事例：介護保険事業の枠外サービス（家事・清掃など）	
②設立の経緯 <ul style="list-style-type: none">・ 平成元年、介護保険事業開始前に住民参加型の在宅介護サービスの草分けとして設立された社団法人 長寿社会文化協会 まごころサービス東京センターを継承し、平成	

14年 NPO 法人設立。平成 14 年より介護保険制度による訪問介護事業、平成 15 年に居宅介護支援事業、同年 5 月障害者支援事業（現 自立支援事業）を開始。
③運用の仕組み ・ 公的介護保険対象外のサービスを「助け合い事業」とし、1 時間あたり 1500 円を受け取る。当初は時間当たりのチケット制で実施していたが、チケットの紛失や利用者が亡くなった後の精算の問題が発生し、現在では全て現金でのやり取りとなった。
④運営資金 ・ 介護保険事業による収益と利用料収入。
⑤その他特記事項 成果 ・ 年間 500 時間（助け合い事業）

タイムバンキング/時間預託支援団体

(6) タイムバンクス USA

日時	メールによるヒアリング
協力者	ジェン・ムーア（タイムバンクス USA Associate for Membership and Outreach）
概要：アメリカ国内でのタイムバンキング運営支援、ネットワーク活動を行う。毎年米国内のタイムバンキング運営団体が集う全国会議を主催。運営支援は、資金調達方法のアドバイス、セミナーの開催、運営ガイドブックの発行、クレジットを管理するソフトウェアの開発と提供（有償）等を行っている。	

(7) サラピス財団

日時	平成 22 年 9 月 2 日（木）17 時～18 時
場所	サラピス財団事務所（ニューヨーク市）
協力者	エリック・オズモンド氏
概要：NPO・NGO 活動等を特に広報面で支援する中間支援組織。タイムバンキングに関しては、団体間の連携（クレジットの相互使用）支援・資金確保のサポートを行っている。 ・ 2010 年 8 月、複数のタイムバンキング団体におけるクレジットの相互利用に関する	

イベントを実施。5つのタイムバンクから約30名が参加した。

(8)財団法人 さわやか福祉財団

日時	平成22年8月26日(木) 10:30~12:00
場所	(財)さわやか福祉財団会議室(東京都港区)
協力者	鶴山 芳子氏(時間通貨推進プロジェクトリーダー)、岡 亜里砂氏(時間通貨推進プロジェクトメンバー)
<p>概要：1990年初めより時間預託「ふれあい切符」(独自の呼称)を推進。当時は介護保険制度が無く、高齢化社会に向けて新たなふれあい社会を築く必要があった。制度設立後は時間預託の取り組みは広がっておらず積極的な推進は行っていないが、資料提供・アドバイス等を行っている。その後、いろいろな人がお互いのサービスを交換し合う「時間通貨」が広がり、2003年から2005年にかけて、37団体が誕生した。</p> <p>・さわやか福祉財団によると、「時間通貨」とは、互いに助けられ支えあうサービスや行為を、時間を単位とした「通貨」として循環させるシステムのこと」である。</p>	

2-3. 事例研究まとめ

ここでは、事例研究で調査した内容を以下の4つの観点から整理し、各類型に名称をあてていく。

(1)拠点施設

事務局には大きく分けて二つのタイプが見られる。一つはセンターなどの拠点施設を兼ねるタイプ。この場合、施設は事務局機能とメンバー同士がコミュニケーションをとることのできるサロン機能、イベント時の会場機能などを果たす。ヒアリング事例では、クリエイションディベロップメント Trust の「ガルー・タイムセンター」や NPO 法人たすけあい遠州の「もうひとつの家」がその事例である。もう一つはそのような施設を持たず、独立した事務局で管理・コーディネートを行うものである。NALC 福岡・どん TAC、VNSNY がこの事例にあたる。これらをそれぞれ (A) センター事務局型、(B) 独立事務局型と呼ぶ。

(2)クレジットの授受

クレジットの授受には、(A) 個人→個人 (B) 個人→タイムバンク (C) タイムバンク→個人の三通りが見られる。

(A) はどの団体にも見られる個人間の助け合いの場合がこれに当てはまる。この場合、タイムバンクはやりとりには関わらない。(ただし、時間預託制である NALC

福岡・どん TAC の場合には、個人間の助け合いの場合でも個人から個人にクレジットが渡るのではなく、利用者・サービス提供者それぞれのクレジット残高が増減することとなる。）

(B) はタイムバンクが主催するイベント参加費や提供するサービスの授受に関する場合がこれに当てはまる。例えば、クリエイション・ディベロップメント・トラストが提供する各種講座やショー、施設利用、NPO 法人たすけあい遠州のランチ利用もこれに当てはまる。前項(1)で独立事務局型に分類される VNSNY の場合は、このような動きは発生しない。

(C) は、クリエイション・ディベロップメント・トラストで行われていた、地域のカーニバル準備へ参加した場合や地域美化活動へ行った場合等のクレジット支給が当てはまる。この場合、奉仕活動により益を受けるもの（この事例の場合はコミュニティ）と、タイムバンク（この場合はクリエイション・ディベロップメント・トラスト）が一致しない点に注目したい。これについては、4-2 にて後述する。

(3)クレジットの形態/残高の管理方法

クレジットの形態・残高の管理方法は以下のタイプが見られた。

- (A) チケット型：1枚＝1クレジットに相当する独自のチケットやチップを使用。タイムバンクは個人の残高に関知しない。
- (B) 通帳型：残高を通帳に記録し個人が管理する。
- (C) 台帳型：残高をタイムバンク事務局の個人別台帳に記録し管理する。
- (D) オンライン型：残高をタイムバンク事務局のデータベースに記録し管理する。

(4)運営資金

運営資金は、どのタイムバンクも以下の方法のいずれかの組み合わせで行っていた。

- (A) 助成金・補助金
- (B) 自主事業による収入
- (C) スポンサーからの収入
- (D) 団体の会費収入

以上の類型に基づき、ヒアリング調査を行ったタイムバンキング実施団体を整理すると次のようになる。

図表 10 ヒアリング調査対象タイムバンクの類型別一覧

	クリエイション・ディベロップメント・トラスト	VNSNY コミュニティコネクションズ タイムバンク	NPO 法人NALC福岡 どん TAC	NPO 法人 たすけあい遠州
(1) 拠点施設	(A) センター事務局型	(B) 独立事務局型	(B) 独立事務局型	(A) センター事務局型
(2) クレジットの授受	(A) 個人→個人 (B) 個人→タイムバンク (C) タイムバンク→個人	(A) 個人→個人	(A) 個人→個人 ※ただし個人から個人にクレジットが渡るのではなく、利用者・サービス提供者それぞれのクレジット残高が増減することとなる。	(A) 個人→個人 (B) 個人→タイムバンク
(3) クレジットの形態/残高の管理方法	(A) チケット型	(D) オンライン型	(C) 台帳型	(A) チケット型
(4) 主な運営資金	(A) 助成金・補助金	(C) スポンサーからの収入	(D) 団体の会費収入	(B) 自主事業による収入 (D) 団体の会費収入

2-4. タイムバンキングの導入にあたって

拠点施設については、英国の「タイムセンター」や NPO 法人たすけあい遠州の「もうひとつの家」のように、地域の誰もが立ち寄れるような居場所、交流の場があることが望ましい。ただしこの場合、居場所を管理し、相互扶助のやりとりを仲介・サポートする人材が必要である。独立事務局型の場合は、広いエリアに存在するメンバーの活動を一元的に把握・管理することが可能であるが、特定の地域コミュニティの活性化に関してはセンター事務局型に分がある。

クレジットの授受については、必ずしもモノとしての券は必要ではない。VNSNY の様に、インターネット上の「記録」をつける方法をとっているところもある。また、1時間につき1チケットではなく、1行為につき1チケットとするなど、目的にあった仕組みを選択すればよい。

管理者について、チケット型を取り入れている NPO 法人たすけあい遠州では、サ

サービスの提供側が「御礼はチケットで良いよ」と言えることで「お節介をしやすくする道具」となっていると聞いた。また、その対価についても、クリエイション・ディベロップメント・トラストでは1時間の奉仕活動を1クレジットとしているが、たすけあい遠州では、「周」を「良い時間を過ごさせてもらった御礼」と位置づけ、1行為を1周としている。このように、対価の設定には様々ある。

台帳型・通帳型は、たすけあいのやり取りを記録するという点は共通であり、それを事務局が管理するか、個人が手元で管理するかの違いである。オンライン型も台帳型の現代版といえるが、この3つの方法の利点は、やりとりにチケットのようなモノが必要ないため、マイナスの残高も起こりえるという点にある。チケット型であれば、手元にチケットがない場合はサービスをしてもらうことができない。つまり自分が事前に奉仕活動や他者へのサービスをして得たクレジット分しか、サービスを受けることが出来ない。しかし、台帳型、通帳型、オンライン型では、まずサービスを受け、後からその分他者にサービスをするということが可能となる。マイナス残高を認めるかどうかは、運営するタイムバンクによるが、VNSNYでは、クレジットを持っているということよりも、クレジットのやりとりが発生するという点、つまり人と人との助け合いが起こることが重要であるとの考えから、マイナスも大いに歓迎しているとのことであった。

また、オンライン型を採用しているVNSNYでは、相互扶助が行われていても、それをオンラインで登録する人は全体の1割に過ぎないそうであり、相互扶助の意識が浸透する一方で、タイムバンキングをツール・仕組みとして意識しない登録者が増えているという「嬉しい問題」がある。

チケット型は物理的なツールとして利用可能なため、気軽に利用しやすい一方で、取り組みの拡張性には限界がある。一方で、オンライン型は利用者のICTリテラシが必要であるなど、導入する地域によって適した仕組みを選択する必要がある。

運営資金については、タイムバンキングは利益を得ることを目的としたものではないため、行政や企業からの補助や寄付に頼るところが大きい。しかしながら、より持続的、自律的な活動とするためには、資金を外部に頼るよりも内部で循環する仕組みとすることが望ましいため、この仕組みをどうつくるかが大きな課題である。

上記の4点に加えて、タイムバンキングによる相互扶助活動を運営するためには、地域住民の理解を得て、活動に参画してもらうことが不可欠であり、タイムバンキングの普及、啓発活動や、参加のモチベーションをどう喚起するかが重要なポイントの一つとなる。

3. 実証研究

本章では、福岡県八女市上陽町を対象として実施したタイムバンキングの試行的運用について、その内容と成果を整理し、その結果から運用にあたっての課題や必要な事項の整理を行う。

3-1. タイムバンク「環」

試行の際のクレジットの単位は、「～できる」という意味の「CAN」と、つながりの「わ」という意味を込め、「環（かん）」とした。タイムバンクの方式は、英国・ウェールズにおいて炭鉱閉山により衰退したコミュニティの再生に大きな成果を上げている、クリエイション・ディベロップメント・トラスト（以下 CDT）が運営するガルー・タイムセンターの仕組みをベースとした。ただし、拠点施設への人員の配置が困難であることから、今回は常設の拠点は設けず、特定非営利活動法人グラウンドワーク福岡（以下 GW 福岡）内にタイムバンク事務局を置き、活動メニューの作成、クレジットの管理等を行った。

クレジット付与対象は、主に GW 福岡が呼びかける公益的活動とした。将来的には都市との交流においても活用することを想定し、八女市上陽町以外での活動も付与対象とした。クレジットは、CDT ガルータイムセンターに倣い、チケット型とした。

図表 11 タイムクレジット・環

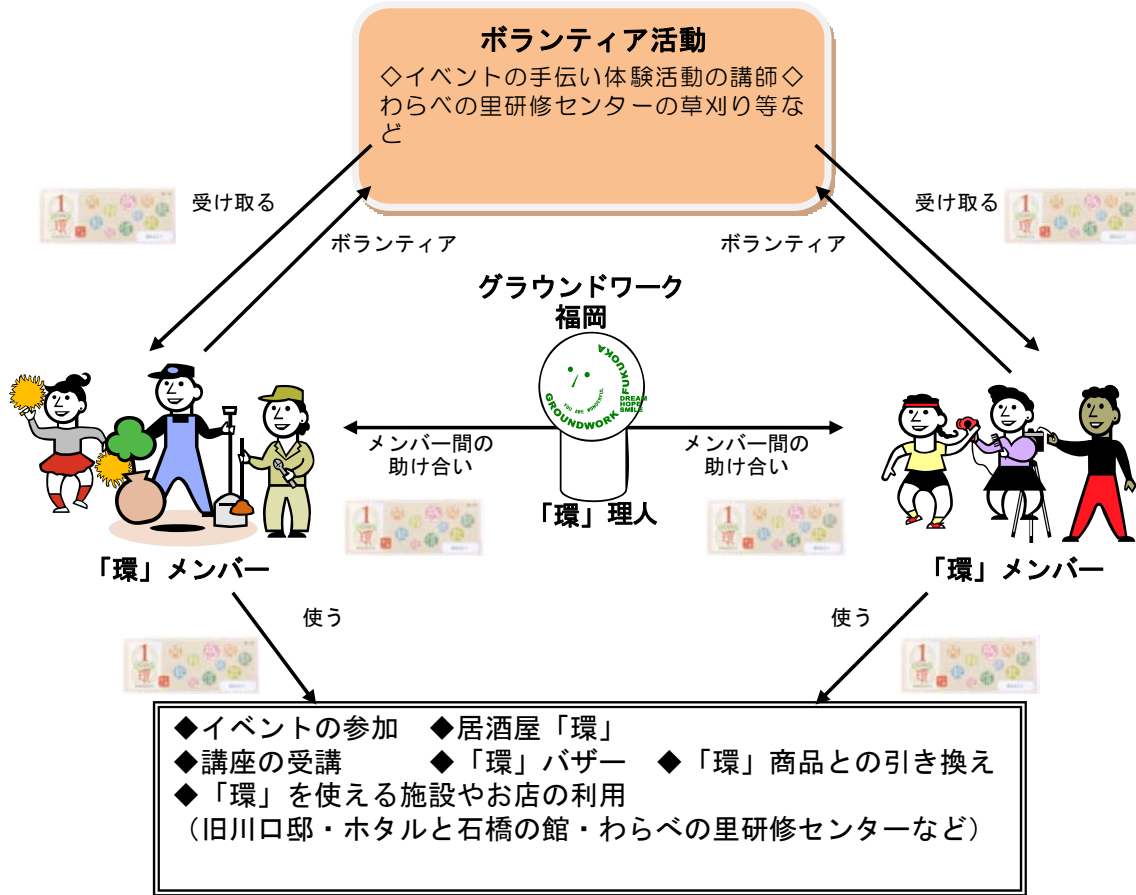


上記を前章 2-3 で述べた類型で整理すると下表のようになる。

図表 12 上陽町のタイムバンキング「環」の類型

	タイムバンク・環
(1) 拠点施設	(B) 独立事務局型
(2) クレジットの授受	(B) 個人→タイムバンク (C) タイムバンク→個人
(3) クレジットの形態/残高の管理方法	(A) チケット型
(4) 主な運営資金	(A) 助成金・補助金

図表 13 実施スキーム



3-2. クレジット付与

以下の活動への参加者に対し、1時間あたり1環を付与した。

(1) 上陽地区内での活動

日付	活動名	活動内容	活動場所	参加人数 (地区内)	参加人数 (地区外)	クレジット数
9/5	耕作放棄地・遊休農地活用プロジェクト	じゃがいも植えつけ・大根種まき	仏尾地区 納又地区	1	6	20
11/3	芋焼酎プロジェクト	芋ほり	仏尾地区	7	17	137
11/18	芋焼酎プロジェクト	芋ほり	納又地区	4	4	48
12/11	居酒屋「環」	交流イベ	仏尾地区	2	8	67

		ントの準備・運営				
12/18	耕作放棄地・遊休農地活用プロジェクト	玉ねぎ・高菜植えつけ	仏尾地区	6	7	22
2/5	居酒屋「環」	交流イベントの準備・運営	仏尾地区	3	7	43

①耕作放棄地・遊休農地活用プロジェクト

地区内の耕作放棄地・遊休農地の活用を目指し、就農希望の若者が地区内農業者に指導を受けながら耕作を行うプロジェクト。タイムバンキング参加者は、農作業補助を行った。

②芋焼酎プロジェクト

地区内の耕作放棄地・遊休農地の活用と都市と農村の交流、収穫した作物・加工品の収益による「地域の豊かさ基金」（仮称）づくりを目的に実施するプロジェクト。

③居酒屋「環」

上陽町仏尾地区にて住民交流促進のためのイベント、居酒屋「環」を開催した。上陽町中心部から約8kmの山間部に位置する仏尾地区では地区内に住民が集える飲食店がなく、高齢者の孤立や孤食、若者にとって地区の魅力減の要因となっていたことから、「環」を地域のニーズを満たすツールとして活用する絶好の機会ととらえ、支払い代金の一部に「環」を使用できるようルールを定めて行った。本企画の運営を手伝った者に対し、「環」を発行した。

参加は、仏尾地区以外に上陽町内の他の地区や都市住民にも広く呼びかけ、都市と農村の交流の促進もはかった。

(2) 地区外での活動

日付	活動名	活動内容	活動場所	参加人数 (地区内)	参加人数 (地区外)	クレジット数
11/7	ハーブガーデン整備	遊歩道づくり	筑紫野市		9	54
11/23	ハーブガーデン整備	屋根ふき	筑紫野市		5	36

11/27	星野村でみそづくり	大豆収穫	星野村長尾地区		5	25
12/4	ハーブガーデン整備	遊歩道作り	筑紫野市		7	42
12/23	ハーブガーデン整備	パン窯レンガ積み	筑紫野市		4	21
12/26	ハーブガーデン整備	パン窯レンガ積み	筑紫野市		4	8
1/10	ハーブガーデン整備	パン窯レンガ積み	筑紫野市		6	29
1/22	ハーブガーデン整備	型枠づくり	筑紫野市		6	24
1/29	ハーブガーデン整備	パン窯レンガ積み	筑紫野市		6	32
2/5	ハーブガーデン整備	パン窯レンガ積み	筑紫野市		3	21

④福岡視覚特別支援学校ハーブガーデン整備

GW 福岡が県立福岡視覚特別支援学校生徒の職域拡大のために筑紫野市（上陽町から44km）の同校校庭で実施する活動。主な参加者は福岡都市圏（上陽町から65km）在住のGW福岡会員であった。

⑤星野村でみそづくり

地区内の耕作放棄地・遊休農地の活用と都市と農村の交流・食育を目的に上陽町に隣接する星野村地区（上陽町から14km）で大豆を育て、収穫した大豆からみそを作るプロジェクト。タイムバンキング試行期間には大豆収穫作業を行った。

本活動へは、上陽地区住民1名が初めて参加した。参加の動機は「クレジットがもらえるならば参加してみようかと思った」とのことであった。

(3)その他

上記（1）（2）以外に初めてタイムバンクに参加する人には、エントリーとして5環を配布した。

日付	活動名	活動内容	活動場所	配布対象者 (地区内)	配布対象者 (地区外)	クレジット数
	エントリー			36	1	185

3-3. クレジット使用

クレジット使用の機会とし、上陽町仏尾地区にて住民交流促進のためのイベント、居酒屋「環」を開催した。同時に住民へタイムバンキングの周知を図る機会とした。(住民周知用資料 資料4)

日付	活動名	活動内容	活動場所	参加人数 (地区内)	参加人数 (地区外)	回収クレ ジット数
12/11	居酒屋「環」①		仏尾地区	17	0	116
2/5	居酒屋「環」②		仏尾地区	19	1	97

3-4. 考察

(1)参加者の反応

本実証研究の主な参加者は、①GW 福岡会員（上陽地区以外）②GW 福岡会員（上陽地区内）③ ①②に属さない上陽地区住民の主に3つの層からなる。

それぞれに対し、趣旨の説明を口頭または住民周知用資料（資料4）を用いて行った後、試行にかかる活動への参加を呼びかけた。

参加者のうち、説明を聞いただけで本制度の全体的な趣旨を理解する者は、主体的に地域づくりにかかわる地区のリーダー格クラスや40代までの比較的若い層に限られた。

それ以外の参加者は、「地域づくりのために「環」というチケットを試行的に使用する」、「活動に参加すれば1時間ごとに「環」をもらえる」、「「環」を使って、交流行事に参加できる」という単純化した説明に対してはおおむね理解を得られた。

奉仕活動で得たクレジットを交流行事で使えるという点に対しては、「奉仕活動に参加する動機になる」とする意見と、「手間返しは手間返し。交流は交流。それらを連動させることに抵抗を感じる」とする賛否両論が聞かれた。

(2)中山間地の暮らしの助けとなるには

本実証研究におけるクレジットの授受は、2-3 (2) の類型における (B) 個人→タイムバンク、(C) タイムバンク→個人にとどまった。

暮らしの内容を便宜的に (a) :日常生活における暮らしに係る最低限の部分 と (b) 娯楽・余暇活動などの+αの部分 の2つに分けると、(b) に関しては、居酒屋「環」での参加者からの反応から見ても、現時点でもタイムバンキングを有効に活用することは比較的容易であることがわかった。しかし、(a) については、類型 (A) 個人→個人のやり取りがさかんになれば、1章で述べた住民が感じている課題の解決につな

がる有効な手段となりうるが、現時点ではそのレベルまでには至っていない。また、実益につながる部分で金銭でやり取りすべき内容（例：一定レベル以上の農作業など労働と同等のもの）とお世話焼きやお手伝いの範囲でタイムクレジットのやり取りで可能なものの線引きも難しい。これについては、運用の中で、参加者の反応を見ながら事例を積み重ねていくことが近道であると考ええる。

(3) 持続的なタイムバンク運営のためには

タイムバンクは持続的な運営がなされ、住民の生活に浸透してこそその真価を発揮する。そのためには、2-4 で述べた各類型の特徴を考慮し、上陽地区の実情に合わせ各要素を再考する必要がある。

特に拠点施設については、住民に高齢者が多く顔の見える関係を好む傾向から、確保が不可欠である。これについては、市の施設又は GW 福岡の保有する施設の利用を検討したい。

また、(A) 個人→個人のやりとりを進めていくためには、コーディネーター役である「環」理人となる人材の確保が必要である。これは、必ずしも一人とは限らず、複数人からなるチームで担うことも考えられる。

さらに運営資金の確保が最大の課題であり、これら全ての役割を担うのは、現段階では NPO が適当であると思われる。

4. 今後の展開

4-1. タイムバンキング制度の有効性

タイムバンキングには、地域コミュニティの活性化という効果がある。英国クリエイション・ディベロップメント・トラストのドーン・デイビーズ氏によると、「タイムバンキング導入以降、地域コミュニティが活性化され、居住環境が向上し、結果的に地価の上昇が見られた。また、人口流出に歯止めがかかった。」という。タイムバンキングと地価上昇の因果関係は分析の余地があるが、周辺地域の地価に対する市場の評価をみても、人口の推移を見ても、有効であると言える。

その他、地域住民の健康面にも良い効果がある。NPO 法人たすけあい遠州が運営する「もうひとつの家」を訪れた際、平均年齢 90 歳を超える高齢者の方々が時間通貨「周」をやりとりしており、大変元気に会話やゲームを楽しまれていた。聞く所によると、ここを訪れる高齢者で老人性認知症になった人はいないとのことであった。アメリカの政治学者 R・パットナムは、地域住民同士の信頼関係やつながりやを「社会資本（ソーシャル・キャピタル）」という指数で表しており、「社会資本指数が高い地域は、地域住民の健康水準が高い」¹との相関関係を指摘している。タイムバンキングは人と人とのつながりや相互扶助を助ける道具であり、それが浸透することにより地域住民にとっての住み良さや健康状況が向上する可能性もある。

加えて、タイムバンキングには公的負担の軽減という効果がある。上述のように、タイムバンキングを媒介にして他者とコミュニケーションを取り、相互扶助活動を行うことで認知症の発生が実際に抑えられるならば、医療費等の公的負担を軽減することとなる。また、ドーン・デイビーズ氏によると、タイムバンキングを利用した公的空間の維持・補修等の地域社会への奉仕活動は、「時給に換算すると相当な額である」とおっしゃっていた。

タイムバンキングには個人の支出も軽減するという効果がある。例えばタイムクレジットを利用して送迎をしてもらったり、語学のレッスンや家庭教師を受ける場合には、金銭は不要なため、個人の支出を軽減することが出来る。このことは、VNSNY への参加動機としても挙げられていた。この点は、都市部や平地部に比べ平均所得が低い中山間地の住民にとっても魅力である。

最後に、近年、多くの方々が「働くことの意義におけるミッション・志の重要性が増している」²という議論を行っている。タイムバンキングは個人の持つスキルを評価し、互いにサービスと感謝の気持ちをやりとりしやすくするツールであり、これを利用することで他者への貢献、地域社会への貢献という満足感、心の充足を得ることにつながる。

このように、タイムバンキングは地域コミュニティの活性化、地域住民の健康の維

¹ R・パットナム「孤独なボウリング—米国コミュニティの崩壊と再生」柏書房（2006）

² R・フロリダ「クリエイティブ資本論—新たな経済階級の台頭」ダイヤモンド社（2008）

持、公的・個人的負担の軽減、利用者の生きがいの創出といった効果があると考えられる。

4-2. 今後の展望

国土政策関係研究支援事業における本研究の位置づけは、「新しい公共の考え方に基づく多様な主体による地域経営等を題材とした研究」であった。内閣府³によると、「新しい公共」とは、「支え合いと活気のある社会を作るための当事者たちの「協働の場」であり、そこでは、「国民、市民団体や地域組織、企業やその他の事業体、政府等が、一定のルールとそれぞれの役割をもって当事者として参加し、協働する。その成果は、多様な方法によって社会的に、また、市場を通じて経済的に評価されることになる」とある。

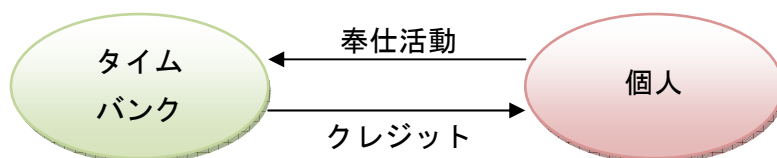
今後タイムバンキングを中山間地において本当に有効な仕組みとして活用していくには、まさにこの社会的評価を得ることが必要である。これには、引き続き実証実験を続け、前項で述べた有効性に関するデータを示し証明しなければならない。

実際に、事例研究で見た英国や米国では、タイムバンキングが行政から高い評価を受け、そのことが資金確保やダイナミックな活動展開を助け、地域にさらに大きな効果をもたらすという好循環ができあがっている。例えば、クリエイション・ディベロップメント・トラストは行政保有の遊休施設をタイムセンターとして活用したことで、地域再生に成功したが、それが評価され、現在では別の地区で同種の施設の活用しタイムバンキングを展開することを依頼されているという。

また、「市場を通じて経済的な評価」を得るという部分については、2-3 (2) で触れた、奉仕活動で益を受けるものとタイムバンク運営者が異なる場合には、特にそのことが求められる。

タイムバンク運営主体が主催する活動に対し、個人が奉仕活動を行いクレジットが発行される場合、タイムバンク運営主体が受益者となり、奉仕活動により軽減できた費用でクレジット支払いコストをまかなう、又は相殺することが可能である。

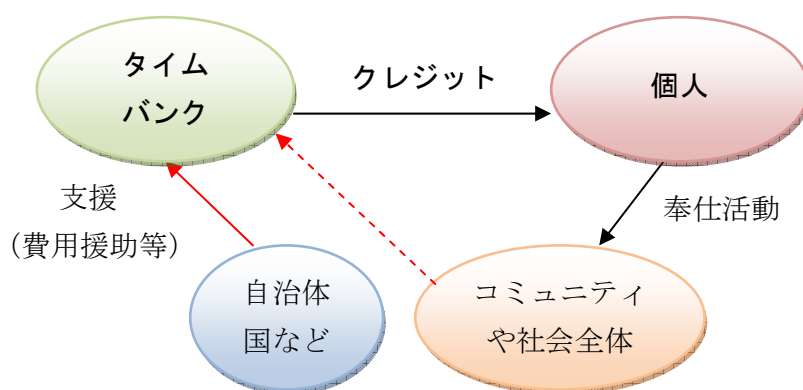
図表 14 実施主体への奉仕活動



³ 内閣府「新しい公共宣言」 <http://www5.cao.go.jp/npc/pdf/declaration-nihongo.pdf>

しかし、英国クリエイション・ディベロップメント・トラストにおける事例で見られた様に、コミュニティを改善する奉仕活動を個人が行った場合にタイムバンクがクレジットを発行する例もある。このパターンは地域コミュニティにとっては望ましいが、タイムバンクは間接的な受益者であるにもかかわらず、個人に対価としてのタイムクレジットを発行することとなる。このケースがあまりに増えると、クレジット支払いコストが負担できなくなる恐れがある。そこで、自治体・国などがその経済的価値を認め、タイムバンクに対する支援を行うことができれば、地域にとってより有効な仕組みの確立が進むのではないかと考える。

図表 15 コミュニティへの奉仕活動



タイムバンキングは利益を生む性質の事業ではないため、その事業推進を担う主体が継続して活動するためには、いかに資金を得る仕組みをつくるかも大きな課題である。上述のように、社会的評価を得ることができれば自ずと資金も集まると思われるが、NPO等のタイムバンク運営主体が自主事業から利益を得て、それをコミュニティ活性化のために再投資する姿勢も欠かせない。

NPO 法人たすけあい遠州では、古紙回収事業実施に対する行政からの奨励補助金や個人・団体等からの寄付金を「もうひとつの家」という居場所づくりと時間通貨「周」の運営資金に充てていた。

別の方法としては、当該地域の資源を活用したコミュニティビジネスによる収益をタイムバンキング運営資金に充てることも考えられる。上陽地区においては、GW 福岡が平成 22 年度から「芋焼酎プロジェクト」による「地域の豊かさ基金」の創設や、加工品開発業を営む合同会社を立ち上げ、収益を同地区での公益的活動に回す仕組みの運用を平成 23 年 4 月に開始する予定である。

その上で、活動に賛同・共感する個人や企業からの寄付金が考えられる。個人から NPO への寄付行為に関しては、国政の場で認定 NPO 法人に寄付した場合の税優遇拡充措置が議論されているところである。米国では、非営利医療団体の税額控除要件に

タイムバンク等によるチャリタブルケアへの支出を含めている事例なども市場の資金を地域貢献に回す仕組みとして非常に有効に機能している。この点では、わが国においても同種の制度拡充を求めたい。

また、近年はソーシャルメディア等、価値観を共有する個人やコミュニティとつながることができる仕組みが社会に次々に誕生している。これらを活用しながら思いを共有できる個人のボランティアベースの協力や活動資金を得ることも、継続のための一つの手段である。

今、中山間地に必要なのは共助を取り戻すことであり、タイムバンキングがその有効なツールであるという可能性は本研究を通じ得ることが出来た。繰り返しになるが、これを確実なものとするためには、上陽町における今後の実践でそのことを証明しなければならない。それを達成できた時、タイムバンキングが中山間地の新しい公共モデルとして確立したと言えるのではないだろうか。

参考文献

田中尚輝『市民社会のボランティア 「ふれあい切符」の未来』(丸善ライブラリー/1996年)

堀田力「堀田.net 福祉の分野における地域通貨の将来」

http://www.t-hotta.net/teigen/fukushi/060712_tsuuka.html

○資料編

資料1 タイムセンター登録フォーム

Time Network Membership Form


This form is part of the 'Time Centre' scheme, currently being launched at Caerau Development Trust. It is to help us understand the interests, skills and needs of the community.

There is no obligation to take part and if you would not like to receive information and discount offers from us please tick this box

Personal Info:-		Date of Birth :	Optional Section : (You don't have to answer this question)		How often do you visit the Hall :	
Forename :	Age :	12-15 16-25 25-60 60+	<input type="checkbox"/> Full time parent at home	<input type="checkbox"/> Monthly	<input type="checkbox"/> Less than monthly	<input type="checkbox"/> Weekly
Surname :	Welsh Speaking Y/N (Please circle)		<input type="checkbox"/> Full-time paid employment	<input type="checkbox"/> Never		
Address :	Children : Y/N (Please circle)		<input type="checkbox"/> Part time paid employment	Are you interested in attending courses and activities :		
Postcode :	Ages (How many of each)	under 12 12-18 18-25 25+	<input type="checkbox"/> Not in paid employment	<input type="checkbox"/> During the day	<input type="checkbox"/> During the evening	<input type="checkbox"/> Weekend
Phone No :				Which Group(s) do you volunteer for :		


Arts:-	Have done	Would like to do	Sports:-	Have done	Would like to do	I.T.:-	Have done	Would like to do	Babies & Children	Have done	Would like to do	Events:-
Crafts	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Bowls	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Basic Skills	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Baby massage/ fitness	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Band Nights
Dance	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Coaching	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Computer maintenance	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Child-care	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Barndance / Twmpath
Drama	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Football	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Digital Photography	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Healthy eating	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Battle of the Bands
Music	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Rugby	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Internet	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Kids Parties	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Bingo
Painting	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Tennis	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Web Design/ Design	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Parent & Toddler events	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Classical Music Concerts
Other:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Other:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Other:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Other:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Film Nights


Fitness:-	Have done	Would like to do	Lifestyle:-	Have done	Would like to do	Music:-	Have done	Would like to do
Aerobics	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Alternative therapies	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Blues	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Circuits	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Car maintenance	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Carols/Xmas	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Kick-boxing	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Computer Games	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Classical	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Pilates	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Cooking	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Folk/roots	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Self-Defence	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	DIY	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Indie	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Tai-bo	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Drive a Car / Minibus	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Jazz	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Weights:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Environmental	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Musicals	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Yoga	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Film/cinema	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Pop	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Other:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	First Aid	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Punk	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			Flower arranging	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	R&B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			Gardening/Landscaping	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Rap	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			Hair & beauty	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Rock/Metal	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			Healthy living	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Samba	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			Housework	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	World Music	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			Knitting/sewing/embroidery	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Others:-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			Languages	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>


	Was this form clear and easy to understand ?
	Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> Don't know <input type="checkbox"/>

Do you have any Armed Forces connections: Yes [] No [] If Yes what is his / her name?: _____

資料2 タイムバンククレジット利用登録様式

1	TimeBank Credit	1
Credit to: _____ (print name of provider)		
Date of service: _____ # hours: _____		
Type of service: _____		
Name of receiver (print): _____ Signature of receiver: _____		
 Visiting Nurse Service Of New York <i>We Bring The Caring Home</i>		

1	TimeBank Credit	1
Credit to: _____ (print name of provider)		
Date of service: _____ # hours: _____		
Type of service: _____		
Name of receiver (print): _____ Signature of receiver: _____		
 Visiting Nurse Service Of New York <i>We Bring The Caring Home</i>		

1	TimeBank Credit	1
Credit to: _____ (print name of provider)		
Date of service: _____ # hours: _____		
Type of service: _____		
Name of receiver (print): _____ Signature of receiver: _____		
 Visiting Nurse Service Of New York <i>We Bring The Caring Home</i>		

資料3 どんTAC ボランティア提供・利用登録票

NALC
ボランティア提供・利用登録票

ナルク 拠点

本人・画己(画者) (いずれかを○で囲む) 平成 年 月 日提出

ふりがな 氏名	会員 番号№	大正 昭和 年 月 日 生
〒	TEL	
住所	FAX	
※ 以下各欄の該当項目の□内に印をし、()内を埋めて下さい。		
★ 現時点でボランティア活動活動できますか。		
<input type="checkbox"/> 活動できます (できる人のみ) → 月に()日、()時間ぐらいはできます。 <input type="checkbox"/> 活動できません (登録して下さい) → <input type="checkbox"/> 活動できる曜日:() ()曜日、月()回 <input type="checkbox"/> 今は出来ないが 将来はできる <input type="checkbox"/> 月、水、金は可。…など <input type="checkbox"/> いつごろからできますか、予定 () () ()		
★ 活動できる人のみ		
★ あなたが提供できるボランティアに印して下さい。		
I. 家庭内外の 仕事援助 精神的援助	<input type="checkbox"/> 01. 住宅修繕[障子、網戸張替等の小修理] <input type="checkbox"/> 02. 庭手入れ[園芸、草むしり] <input type="checkbox"/> 03. 雪かき、雪下ろし <input type="checkbox"/> 04. 葬祭手伝い[墓参り等] <input type="checkbox"/> 05. 葬儀準備 <input type="checkbox"/> 06. 話相手 <input type="checkbox"/> 07. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 08. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 09. 手紙交換 <input type="checkbox"/> 10. その他	<input type="checkbox"/> 09. 雪かき、雪下ろし <input type="checkbox"/> 10. 葬儀準備 <input type="checkbox"/> 11. 話相手 <input type="checkbox"/> 12. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 13. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 14. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 15. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 16. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 17. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 18. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 19. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 20. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 21. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 22. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 23. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 24. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 25. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 26. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 27. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 28. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 29. 相談、助言 <input type="checkbox"/> 30. 相談、助言
II. 家事援助 含む	<input type="checkbox"/> 21. 住宅掃除[部屋掃除、台所、換気扇、大掃除、その他] <input type="checkbox"/> 22. 洗濯[洗濯、物干、アイロンかけ] <input type="checkbox"/> 23. 掃除[手拭い、ミシン利用等] <input type="checkbox"/> 24. 買い物[徒歩、乗物利用] <input type="checkbox"/> 25. 食事作り[献立作成、下ごしらえ、調理、配膳、後片づけ等] <input type="checkbox"/> 26. 医療機関との連絡[薬取り、など] <input type="checkbox"/> 27. 役所、金融機関等との手続き代行[行政ボランティア利用手続き] <input type="checkbox"/> 28. 留守番 <input type="checkbox"/> 29. 宿泊を伴う留守番(特設と就寝) <input type="checkbox"/> 30. その他	<input type="checkbox"/> 21. 住宅掃除[部屋掃除、台所、換気扇、大掃除、その他] <input type="checkbox"/> 22. 洗濯[洗濯、物干、アイロンかけ] <input type="checkbox"/> 23. 掃除[手拭い、ミシン利用等] <input type="checkbox"/> 24. 買い物[徒歩、乗物利用] <input type="checkbox"/> 25. 食事作り[献立作成、下ごしらえ、調理、配膳、後片づけ等] <input type="checkbox"/> 26. 医療機関との連絡[薬取り、など] <input type="checkbox"/> 27. 役所、金融機関等との手続き代行[行政ボランティア利用手続き] <input type="checkbox"/> 28. 留守番 <input type="checkbox"/> 29. 宿泊を伴う留守番(特設と就寝) <input type="checkbox"/> 30. その他
III. 介助・介護	<input type="checkbox"/> 41. 見守り <input type="checkbox"/> 42. 外出介助[通院介助、所要、散歩] <input type="checkbox"/> 43. 車椅子介助 <input type="checkbox"/> 44. 身辺介助[衣類の着脱、シーツ交換] <input type="checkbox"/> 45. 排泄介助[トイレ誘導、ポータブルトイレ介助、ペット介助] <input type="checkbox"/> 46. 理容[爪切り、髪型、洗髪、髭剃り] <input type="checkbox"/> 47. 食事介助 <input type="checkbox"/> 48. 送迎 <input type="checkbox"/> 49. その他	<input type="checkbox"/> 41. 見守り <input type="checkbox"/> 42. 外出介助[通院介助、所要、散歩] <input type="checkbox"/> 43. 車椅子介助 <input type="checkbox"/> 44. 身辺介助[衣類の着脱、シーツ交換] <input type="checkbox"/> 45. 排泄介助[トイレ誘導、ポータブルトイレ介助、ペット介助] <input type="checkbox"/> 46. 理容[爪切り、髪型、洗髪、髭剃り] <input type="checkbox"/> 47. 食事介助 <input type="checkbox"/> 48. 送迎 <input type="checkbox"/> 49. その他
V. 子育て支援	<input type="checkbox"/> 81. 子供の一時預かり <input type="checkbox"/> 82. 学童保育の支援 <input type="checkbox"/> 83. 保育園・幼稚園への送迎 <input type="checkbox"/> 84. 放園・放課後の預かり <input type="checkbox"/> 89. その他	<input type="checkbox"/> 81. 子供の一時預かり <input type="checkbox"/> 82. 学童保育の支援 <input type="checkbox"/> 83. 保育園・幼稚園への送迎 <input type="checkbox"/> 84. 放園・放課後の預かり <input type="checkbox"/> 89. その他
★ 現在あなたは会員からボランティアを利用する予定がありますか。あれば、その内容を		

***裏面もご記入下さい。

2004年8月15日改訂

標準様式Ⅲ-5

NALC
ボランティア提供・利用登録票

裏面 つづき

★ 生活アドバイザー制度に参加できますか。該当項目の何れかに・印して下さい。

参加出来る。 アンケートだけなら参加出来る。 参加しない。

★ 組織活動として手伝い、協力できる項目に印して下さい。当番条件あれば記入して下さい。

コーディネーター 会報の発行
 事務担当番 [条件:] 会報の手配り: 月1回程度
 例1) 毎週月曜日不可、 組織拡大活動
 例2) 月、水、金は可。…など 事務(事務局)
 行事、研修、レクリエーションの企画推進

★ あなたの資格、特技、趣味をお聞かせ下さい。該当項目に印して下さい。
 << 登録番号一覧表 >>

<input type="checkbox"/> 01医師	<input type="checkbox"/> 02看護婦	<input type="checkbox"/> 03ヘルパー()級	<input type="checkbox"/> 04教員免許
<input type="checkbox"/> 05栄養士	<input type="checkbox"/> 06手話	<input type="checkbox"/> 07障害者ボランティア	<input type="checkbox"/> 08保育士
<input type="checkbox"/> 09保健士	<input type="checkbox"/> 10調理士	<input type="checkbox"/> 11衛生管理者	<input type="checkbox"/> 12マッサージ師
<input type="checkbox"/> 13電気工事	<input type="checkbox"/> 14園芸技士	<input type="checkbox"/> 15自動車免許	<input type="checkbox"/> 16()級建築士
<input type="checkbox"/> 17大工	<input type="checkbox"/> 18通訳	<input type="checkbox"/> 19ガイド	<input type="checkbox"/> 20宅建取引主任
<input type="checkbox"/> 21社会保険労務士	<input type="checkbox"/> 22危険物取扱主任	<input type="checkbox"/> 23行政書士	<input type="checkbox"/> 24税理士
<input type="checkbox"/> 25カラオケ	<input type="checkbox"/> 26コーラス	<input type="checkbox"/> 27囲碁	<input type="checkbox"/> 28珠算簿記
<input type="checkbox"/> 29ワープロ、パソコン	<input type="checkbox"/> 30楽器演奏	<input type="checkbox"/> 31読書	<input type="checkbox"/> 32洋裁
<input type="checkbox"/> 33和裁	<input type="checkbox"/> 34編み物	<input type="checkbox"/> 35手芸	<input type="checkbox"/> 36書道
<input type="checkbox"/> 37和道	<input type="checkbox"/> 38茶道	<input type="checkbox"/> 39無線	<input type="checkbox"/> 40水泳
<input type="checkbox"/> 41テニス	<input type="checkbox"/> 42ゴルフ	<input type="checkbox"/> 43スキー	<input type="checkbox"/> 44野球
<input type="checkbox"/> 45ゲートボール	<input type="checkbox"/> 46陸上競技	<input type="checkbox"/> 47登山	<input type="checkbox"/> 48トレーニング
<input type="checkbox"/> 49ドライブ	<input type="checkbox"/> 50釣釣り	<input type="checkbox"/> 51社交ダンス	<input type="checkbox"/> 52旅行
<input type="checkbox"/> 53スポーツ観戦	<input type="checkbox"/> 54映画鑑賞	<input type="checkbox"/> 55音楽鑑賞	<input type="checkbox"/> 56演劇鑑賞
<input type="checkbox"/> 57歴史探訪	<input type="checkbox"/> 58囲碁	<input type="checkbox"/> 59将棋	<input type="checkbox"/> 60麻雀
<input type="checkbox"/> 61版画	<input type="checkbox"/> 62カメラ	<input type="checkbox"/> 63木彫り	<input type="checkbox"/> 64絵画
<input type="checkbox"/> 65陶芸	<input type="checkbox"/> 66短歌、俳句	<input type="checkbox"/> 67	<input type="checkbox"/> 68

★ 上記の資格、特技、趣味の内
 (イ) ボランティア活動提供、参加できるもの(1)() (2)() (3)() (4)() 番号をご記入下さい
 (ロ) リーダーとして活動できるもの (1)() (2)() (3)() (4)() 番号をご記入下さい

★ 希望、意見、得意とする活動、近況報告などお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

大切な調査ですので、必ず郵送か、事務所まで直接お届け下さい。

2004年8月15日改訂

標準様式Ⅲ-5

資料4 タイムバンキング説明資料

タイムバンキング

環

という新しい助けあいの仕組みづくりに取り組んでいます。
あなたも協力してくださいませんか。

かん



タイムバンキングとは？

時間を単位に「環」などのポイントのやり取りし、お互いを助け合う制度は「時間預託制度」「タイムバンキング」などと呼ばれています。これは米国で 80 年代に始まった制度で現在では世界 26 カ国で使われています。グラウンドワーク福岡が交流をしているウェルズでも地域活性化に大きな効果を上げています。それらをお手本に上臈でも試行してみることになりました。

■ 「環」ってなに？

「環」はお互いを助け合う時間をやりとりする際に使うチケットです。



お手伝いする時は「環」をもらう。
お手伝いやサービスをしてもらう時は「環」を渡す。
というのが、基本的な仕組みです。

たとえば…

- ◇ イベントの手伝い
- ◇ 体験活動の講師
- ◇ 庭掃除や草刈り
- ◇ 病院や商店への送迎
- などをした時にもらえます。

そして受け取った「環」は…

- ◆ イベントの参加
- ◆ 居酒屋「環」
- ◆ 講座の受講
- ◆ 「環」バザー
- ◆ 「環」を利用して作った野菜や加工品との引き換え
- などで使うことができます。

■ 時間の長さで枚数が決まります。

「環」をもらう枚数・渡す枚数は時間の長さによって決まります。例えば、イベントの手伝いを 1 時間した時には「1 環」を受け取り、2 時間の講座を受講した時には「2 環」使うといった具合です。大人でも子供でも「1 時間＝1 環」は変わりません。

■ 使いみちはいろいろ

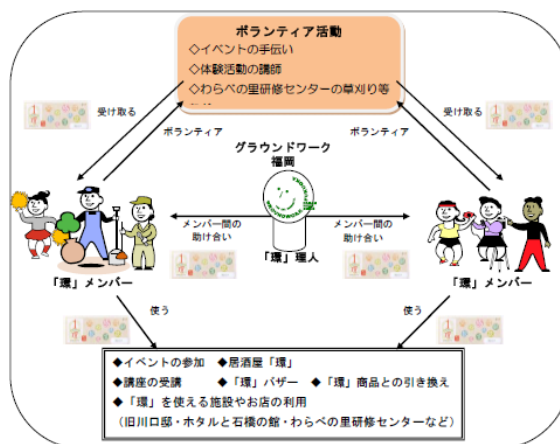
「畑や花壇の水やりをお願いしたい」「編み物を教えてくれないかな」「道具の修理の方法を教えてください」など誰かにちょっとお手伝いしてもらえたら…ということってありませんか？

そんな時も「環」の出番！「環」を管理する「環」理人が「環」メンバーの中からお手伝いできる人を探します。そしてその時間にに応じて「環」をやり取りします。

反対にお手伝いを求めている「環」メンバーがいる時は「環」理人から依頼の連絡があるかもしれません。その時はお互いさまの気持ちで、出来る限りお手伝いしてあげてください。

■ どんな時にもらえるの？

当面はグラウンドワーク福岡が呼びかける行事に協力した方に対しお渡しします。
(もらえる機会・使う機会は随時増やしていきます)



■ どうして「環」が必要なの？

昔は上臈にもたくさんの方が住んでいて、お手伝いが必要な時は家族で、また集落の中で助け合いながらお互いさまで暮らしていました。しかし、最近は生活スタイルが変わり家族の人数が減ったり、都会に引っ越す人がいたりして、その助け合いが困難になってきました。また、人が少なくなると地域の活気がなくなります。そこで、「環」を介して楽しみながらお互い助け合い、人とのつながりを感じられる豊かな地域を創りたい！と思うのです。

■ メンバーになるには

- ・自分の名前・住所・できること・お手伝いしてほしいことなどを登録します。
- ・登録が終わると、最初にら環がもらえます。

「環」事務局：特定非営利活動法人グラウンドワーク福岡

812-0017 福岡市博多区美野島 2-16-8 日大ビル 7 階 電話 092-414-1234 FAX 092-414-1155
旧川口邸 834-1104 八女市上隈町下横山 446 電話 & FAX : 0943-54-2242

